

(理事会・評議員会共通)

平成23年度 事業報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

■ 事業活動

〈電話相談「認知症110番」事業〉

この事業は毎日新聞社と共催し、アメリカンファミリー生命保険会社のご協力で1992年7月20日にスタート、この7月に満20周年を迎えます。累計相談数も今年3月末で17622件に達しました。平均すると年に約900件ですが、ここ2年は1300~1400件で推移しており、相談希望者が増えていることを伺わせます。

この膨大な相談記録をデータベース化し学術面はもちろん、相談利用者にも役立つよう内容を整理し、パンフレット作成や報告書等で成果を公表する道を探ります。

〈シンポジウム事業〉

認知症の問題を市民にわかりやすく啓発することを目的とした地方都市でのシンポジウムを、那覇市(平成23年7月8日)に続き盛岡市(同11月14日)で開催しました。盛岡市は開催場所を松本市から変更しテーマも「震災と認知症」に差し替えての開催で、岩手医大の高橋智准教授、東京大学大学院の小泉秀樹准教授が講演し、その後のパネルディスカッションと合わせ、震災時のケアの困難さと、今後のまちづくり等に生かすべき提案等が語られました。その内容は昨年12月24日の毎日新聞や同11日の岩手日報で紹介され、詳細な報告書も今年3月に発売され好評でした。

〈調査・研究事業〉

平成23年度は調査・研究事業の具体的な取り組みには至るものではありませんでした。認知症110番に寄せられた相談の記録をデータベース化し、調査研究する助成事業を引き続き検討します。

〈財団報「新時代」の発行〉

平成23年度は67~72号の計6回発行しました。これまで通り活字媒体としての「新時代」を大事にしつつ、ホームページ等新しいメディアからの発信も順次拡充していきます。

■ 内部運営

会議 平成23年度に実施した主な会議は以下の通りです。

理事会・評議員会

理事会は平成23年6月13日、評議員会は同22日開催。平成23年度決算が承認されました。また3月5日の理事会では平成24年度の事業計画と予算案が承認されました。